

# イオンレイクタウン



所在地：埼玉県越谷市東町4-21-1  
 延床面積：364,843m<sup>2</sup>  
 店舗面積：218,483m<sup>2</sup>  
 構造・規模：S造一部SRC造、地上4階  
 設計・監理：大林組東京本社一級建築事務所  
 施工：建築／(株)大林組  
 電気／(株)九電工  
 開業日：平成20年10月2日

都市再生機構が開発を進める「越谷レイクタウン」内に国内最大級のエコ・ショッピングセンターとしてオープンした「イオンレイクタウン」。モールの壁面照明には、E-CORE〔イー・コア〕LED電球を用いたダウンライトを採用し、環境配慮型S・Cに対応しつつ、快適な明るさを確保しています。

埼玉の「越谷レイクタウン」内に誕生したエコを身近に楽しめる国内最大級のエコ・ショッピングセンター

「イオンレイクタウン」は、埼玉県越谷市の東部に街開きした「越谷レイクタウン」内にイオングループが創出した国内最大級のエコ・ショッピングセンターです。周辺の自然環境を意識して自然をモチーフに、居心地のよい空間とした「mori (森)」と様々な形状のトップライトを設け、表情の異なる豊かな空間を創出している「kaze (風)」の2つの街区を合わせた建物延床面積36万m<sup>2</sup>を超える大規模な商業施設を形成しています。

また、エコロジーを配慮して、国内最大級の総面積約4,000m<sup>2</sup>に及ぶソーラーパネルや国内初のハイブリッドガスエコシステム、氷蓄熱設備、地中熱利用設備、打ち水ペーブなど、最先端の環境技術が導入されています。

メインモールの下がり天井壁面照明にE-CORE〔イー・コア〕LED電球ダウンライトを採用し、大幅な省エネ・CO<sub>2</sub>削減を実現

モールは約500mという国内最長規模となっており、メインモールに複数の特長あるサブモールを絡ませて空間に変化を与えている街区「mori (森)」。メインモールの照明は、エコ・ショッピングセンターにふさわしいE-CORE〔イー・コア〕LED電球ミゼットレフ形40Wクラスを用いたダウンライトをモール下がり壁面照明として採用しています。これにより、コンパクト形蛍光灯と比較してほぼ同等の配光・明るさを確保しながら、消費電力は67.8%削減、CO<sub>2</sub>排出量は67.8%減を実現しています。また、寿命はコンパクト形蛍光灯の2倍となる20,000時間もつため、ランプ交換の手間も省けます。床上約4mの高天井に設置したこのLED電球ミゼットレフ形ダウンライトは壁面上部にメリハリのある光のアクセントをつけながら空間に広がり感のある快適なあかりをつくり出しています。

トイレ・化粧室及びパウダールーム照明には、E-CORE〔イー・コア〕LED電球ミゼットレフ形60Wクラスを用いたダウンライトを採用し、環境配慮型の商業施設として対応しつつ、清潔なイメージのあかりを提供しています。



1階メインモール 木の広場周辺 壁面照明に〔イー・コア〕LED電球ミゼットレフ形40Wクラスを用いたダウンライトを配置



1階メインモール 水の広場周辺の下がり壁面に〔イー・コア〕LED電球ダウンライト トイレには同器具60Wクラスを配置を設置



壁面に〔イー・コア〕の光のアクセントを創出

## 主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
店内	ダウンライト	ID-76010 (W)+LEL-SL5L-F	1,165	LED電球ミゼットレフ形40Wクラス
		ID-76010 (W)+LEL-SL5L-F/2	10	LED電球ミゼットレフ形60Wクラス